

新年のご挨拶

大改革の国保制度へ 的確な対応

京都府国民健康保険団体連合会
理事長 多々見 良三



明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、皆様のご健勝をお慶び申し上げます。

年頭に当たり、改めて、平素の国民健康保険事業の円滑な運営へのご尽力に対して、心から敬意を表しますとともに、本会の事業運営に多大なご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、国保は国民皆保険制度を支える中核的な役割を担い、地域医療の確保や地域住民の健康保持増進に重要な役割を果たしてまいりました。

平成 27 年の法改正により国保の財政基盤を強化するため大幅に公費を増額して投入するとともに、4 月から都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村とともに国保の運営を担うという、半世紀ぶりの国保制度の大改革が実施されます。

昨年 10 月に中央会・国保連合会は、厚労省・支払基金の審査業務改革と一体となった取り組みの推進、人とコンピュータシステムによる審査業務の高度化・効率化の追求、保険者の共同体としての特性を活かした審査業務の充実を基本的な考えとした「国保審査業務充実・高度化基本計画」を取りまとめ、ICT を活用した審査業務の高度化・効率化を推進するため、基本計画の実現に向けて協議を進めることとしています。

また、団塊の世代が全て 75 歳以上になる 2025 年を控え、平成 30 年度の医療・介護同時報酬改定は、医療保険制度の持続性の維持を見据え、薬価・材料価格が引き下げられ、診療報酬全体で 1.19%のマイナス改定とされました。

本会といたしましても、これらの社会情勢に的確に対応し、新国保制度が円滑に施行できるよう京都府並びに保険者と連携を密にし、効果的・効率的な事業展開を図り、信頼される国保連合会を目指してまいります。

その一歩といたしまして、昨年 12 月にプライバシーマークを取得し、個人情報の保護・管理のさらなる徹底に取り組んでまいります。

今後とも、本会事業運営への一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりまして飛躍の一年となりますようご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

平成 30 年 元旦